



▲世界の平和や、それぞれの夢や願いを込め「縄文の輪典」に点火

## 世界中の平和を願って

中田で環境造形作品展

環境造形作品展2009エンディングイベントが12月20日、中田生涯学習センターで開催されました。イベントでは、中田町出身でフランスで活躍中の佐藤達さんが市内に制作した作品の鑑賞会や縁日広場、野外立体作品「縄文の輪典」の点火式などが行われ、市内外から約200人が参加しました。点火式では「世界がアートを中心に平和でありますように」と祈りを込め、火の子にふんした石森小の児童6人が作品に点火。将来の夢や願いを込めた和紙をアートファイヤーに投火し、皆で燃え上がる炎を囲みました。

## 酷寒を克服して武道に励む

迫で第25回登米市迫少年武道祭

寒稽古で体力や気力を養うとともに、青少年の健全育成を目的に「市迫少年武道祭ならびに10,000人寒稽古」(市教育委員会・県公立武道館協議会主催)が1月16日に迫体育館を会場に開催され、幼稚園児から大人まで約200人が寒稽古に参加しました。会場では、剣道の形が参加者に披露された後、種目ごとに稽古が行われ、気合の入った掛け声が会場に響き渡っていました。閉会式では参加者全員に錬成証が贈られ、錬成証を手にした児童は、「練習は寒かったけど今年も武道を頑張りたい」と話していました。



▲冷え込んだ体育館に、子どもたちの熱い掛け声が響きました

## 親子でオリジナルだこを作成

東和子育て支援センターでたこづくり

東和子育て支援センターで1月13日、ビニール袋を利用した「たこづくり」が行われ、子育て支援センター「わいわい広場」で活動している親子6組14人が参加しました。参加した皆さんは、親子でビニールのたこにカラーペンでアニメのキャラクターや好きな絵を描いて、世界に一つのオリジナルのたこを作りました。その後、天候が悪かったため室内でのたこ揚げとなりましたが、子どもたちは出来上がった自慢のたこを持って楽しそうに走り回り、昔ながらのお正月遊びを楽しんでいました。



▲思い思いに、自分の好きなキャラクターや絵を描きました



▲佐藤支所長(左)と協議会代表者によって協定書が交わされました

## 災害時に備え地元業者と協定

津山で災害時の応援体制に関する協定を調印

災害への迅速な対応をするため、津山地区の建設業者で構成する市津山町災害対策協議会との「災害時における応援体制等に関する協定書調印式」が1月7日、津山総合支所で行われました。この協定では、地震・風水害などの災害が発生した場合、市からの要請を受け、協議会が保管している資器材を使用しての被害の拡大防止や、早急な復旧対応を行うことを目的としています。今回の調印によって今後、既に災害応援協定を締結している市内の事業所とともに、各分野に応じた協力をいただくことになります。



▲とよま謡曲会の皆さんによる能の詞章「謡」の披露

## 魅力あるまちづくりを誓う

登米で新春懇談会

登米町新春懇談会が1月8日、とよま観光物産センター「遠山之里」で開催され、地元の事業所や行政関係団体などから約70人が参加しました。懇談会では、待望だった三陸縦貫自動車道登米ICの開通や、高倉勝子美術館の開館、全国的に紹介された油麩井、とよま秋祭り協賛会の全国表彰など、平成21年の登米地区の出来事を話題に懇親を深め、さらに魅力あるまちづくりを目指すことを誓い合いました。恒例の祝宴では、とよま謡曲会の皆さんによる「謡」が披露され、新年の祝賀に花を添えました。

## 1年間の無事故を皆で誓う

南方で交通安全と無事故を祈願

今年1年間の交通事故防止と、南方地区の交通安全無事故の達成を願い1月5日、南方公民館で、平成22年南方地区交通安全無事故祈願が行われました。会場には南方地区交通安全関係団体から約80人が出席し祈りを捧げました。祈願では、石神社の田村宮司がお祓いを行った後、関係機関などの代表者が玉串を奉奠。佐沼警察署の齋藤署長は、あいさつで、「今後も関係機関と協力し、交通死亡事故発生ゼロの継続と、交通事故の抑止に努めましょう」と話し、皆で一層の交通事故抑止を誓いました。



▲大勢の交通安全団体の関係者が集まり、無事故を祈りました